

お客さま本位の業務運営方針(FD宣言)

制定日 2020年3月23日

更新日 2026年2月20日

中工開発株式会社 保険部

当社は、お客さまにより良い保険サービスを提供するために、当該方針に係る取組状況を定期的に公表し、定期的に見直します。

※本方針は、金融庁が公表する『顧客本位の業務運営に関する原則』に対応したものです。

1. 適正な業務運営を行うための社員教育の実施

法令等を遵守し、お客さま満足を高める保険サービスを継続的に提供できる社内体制を整備し、適宜、見直し改善します。併せて、社員相互での情報共有を心がけ、組織的にお客さまを守る風土の定着に努めます。

【原則7に対応】

2. お客さまのご意向とお客さまを取り巻くリスクの把握と分析にもとづく商品提案と情報提供

常にお客さまの立場に立って考え、お客さまの想い（ニーズ）を把握し、保険の枠に捉われず、お客さま一人ひとりにとって最適な解決策をご提案します。また、保険募集にあたっては、お客さまにとって重要な情報をわかりやすく、丁寧にご説明し、ご提案する保険商品の特性に応じて、十分な情報を提供することに努めます。

【原則2,3,6に対応】

3. 丁寧な説明の実践

お客さまに最適な保険商品を選択していただくために、重要な情報をわかりやすく丁寧にご説明していきます。また、保険金が支払われない場合については、誤解を招くことがないよう、特にわかりやすく丁寧な説明を心掛けます。

【原則5に対応】

4. 丁寧なアフターフォローの実践

ご契約後も、ご契約内容の適切な見直しや変更の受付、もしもの時の事故対応のお手伝い、お客さまにとって有益な情報を提供し続けることにより、お客さまの暮らしに寄り添った、末永いサポートに努めます。

【原則2に対応】

指標と取組につきましては

『お客さま本位の業務運営方針（FD方針）別紙』をご参照願います

金融庁が公表する『顧客本位の業務運営に関する原則』		弊社の『お客さま本位の業務運営方針（FD方針）』が該当する項目	指標	取組	直近の実績 (2025年12月末現況)
原則1 顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等	金融事業者は、顧客本位の業務運営を実現するための明確な方針を策定・公表するとともに、当該方針に係る取組状況を定期的に公表すべきである。当該方針は、より良い業務運営を実現するため、定期的に見直されるべきである。	(本方針の冒頭で公表しております)	・ホームページ ・事務所における掲示	本方針を取り組む中でお客さまのご意見を拝聴しながら定期的に見直しをまいります。	2025年度に見直しました
原則2 顧客の最善の利益の追求	金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。	2, 4	①損保ジャパンのアンケートレポート 2025年度目標50件 かつ ”確認できた”、”理解できた”の回答割合90%以上 ②モバイルSOMPOの登録、活用件数 2025年度目標200件 ③損保自動車保険継続率 2025年度目標96.7% ④お客さまの声 不満足の表明0件	・お客さまアンケート結果を分析し、コメント内容についても真摯に受け止め、今後の業務運営に活かしてまいります ・ご意向把握、比較推奨販売方針・重要事項のご説明などお客さまの反応をうかがいながら丁寧におこなってまいります ・パンフレットやパソコン画面（保険手続きNavi等）を活用し、適切な情報やご意向を反映した手続きに努めます	①損保ジャパンのアンケートレポート 52件 99.1% ②モバイルSOMPOの登録、活用件数 262件 ③損保自動車保険継続率 2025年度目標96.9% ④お客さまの声 0件
原則3 利益相反の適切な管理	金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。	2	①損保ジャパンのアンケートレポート 2025年度目標50件 かつ ”確認できた”、”理解できた”の回答割合90%以上 ②モバイルSOMPOの登録、活用件数 2025年度目標200件 ③損保自動車保険継続率 2025年度目標96.7% ④お客さまの声	・お客さまアンケート結果を分析し、コメント内容についても真摯に受け止め、今後の業務運営に活かしてまいります ・ご意向把握、比較推奨販売方針・重要事項のご説明などお客さまの反応をうかがいながら丁寧におこなってまいります ・パンフレットやパソコン画面（保険手続きNavi等）を活用し、適切な情報やご意向を反映した手続きに努めます	①損保ジャパンのアンケートレポート 52件 99.1% ②モバイルSOMPOの登録、活用件数 262件 ③損保自動車保険継続率 2025年度目標96.9% ④お客さまの声 0件
原則4 手数料等の明確化	金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供すべきである。	(保険会社が提供する各種商品にお客さまが負担する手数料が明示されていません)	-	-	-
原則5 重要な情報の分かりやすい提供	金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。	3	①損保ジャパンのアンケートレポート 2025年度目標50件 かつ ”確認できた”、”理解できた”の回答割合90%以上 ②モバイルSOMPOの登録、活用件数 2025年度目標200件 ③損保自動車保険継続率 2025年度目標96.7% ④お客さまの声	・お客さまアンケート結果を分析し、コメント内容についても真摯に受け止め、今後の業務運営に活かしてまいります ・ご意向把握、比較推奨販売方針・重要事項のご説明などお客さまの反応をうかがいながら丁寧におこなってまいります ・パンフレットやパソコン画面（保険手続きNavi等）を活用し、適切な情報やご意向を反映した手続きに努めます	①損保ジャパンのアンケートレポート 52件 99.1% ②モバイルSOMPOの登録、活用件数 262件 ③損保自動車保険継続率 2025年度目標96.9% ④お客さまの声 0件
原則6 顧客にふさわしいサービスの提供	金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。	2	①損保ジャパンのアンケートレポート 2025年度目標50件 かつ ”確認できた”、”理解できた”の回答割合90%以上 ②モバイルSOMPOの登録、活用件数 2025年度目標200件 ③損保自動車保険継続率 2025年度目標96.7% ④お客さまの声	・お客さまアンケート結果を分析し、コメント内容についても真摯に受け止め、今後の業務運営に活かしてまいります ・ご意向把握、比較推奨販売方針・重要事項のご説明などお客さまの反応をうかがいながら丁寧におこなってまいります ・パンフレットやパソコン画面（保険手続きNavi等）を活用し、適切な情報やご意向を反映した手続きに努めます	①損保ジャパンのアンケートレポート 52件 99.1% ②モバイルSOMPOの登録、活用件数 262件 ③損保自動車保険継続率 2025年度目標96.9% ④お客さまの声 0件
原則7 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等	金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。	1	①定例勉強会の実施状況 2025年度目標12回 ②損保ジャパン業務連絡会への参加状況 2025年度目標 参加率100% ③e-learning受講状況 2025年度目標 終了率100% ④募集人資格取得状況 2025年度目標 損保トータルプランナー受講3名	・お客さま本位の業務運営の社内浸透 ・人財育成 ・内部監査態勢の構築	①定例勉強会の実施状況 9回 ②損保ジャパン業務連絡会への参加状況 100% ③e-learning受講状況 100% ④募集人資格取得状況 3名